

目次

■ 2023年の韓口貿易の総括と展望	1
■ 統計速報	12
2024年1～7月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／12	
2024年1～7月の日ロ貿易／13	
■ トピックス	16
ムロオシステムズ、キルギスでの水力発電開発で契約締結／16	
ムロオシステムズ、ドイツの廃炉事業会社を買収／16	
米、ロシア国営メディアなどに制裁／16	
大東建託、ウズベク人材の採用活動開始／16	
JCB、アゼル銀と提携／16	

2023年の韓口貿易の総括と展望

(一社)ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所
部長 齋藤 大輔

はじめに

昨年、韓国はロシアとの間でどのような貿易を行ってきたのか。制裁強化で、ロシアと西側諸国との関係縮小が止まらない中、二国間貿易は、どのように変わったのか。2023年の韓口貿易を振り返るとともに、今後を展望してみたい。

1. 協調と独自のポジションで150億ドル

韓国税関が発表した貿易統計によると、昨年1年間のロシアと韓国の貿易額は150億2,542万ドルとなり、前年を28.9%下回った。貿易額が前年を下回るのは2年連続で、2021年と比べ45.0%減とほぼ半分の水準に縮小した。

韓国は、ロシアによるウクライナ侵攻とロシアへの経済制裁を巡り、米欧日と協調路線をとり、侵攻を非難するとともに、ロシアに厳しい制裁を科す。2023年も、ロシアに対する追加の制裁として、輸出制限の対象品目を拡大するなど、制裁強化を続けた。ロシアと米欧の対立が長期化する中、関係の回復は見通せず、ロシアとの経済的な結びつきの縮小が一段と進んだ。

韓国からロシアへの輸出は自動車や電気機器などが大きく落ち込み、全体では前年と比べ3.1%減り61億3,344万ドルに、ロシアから韓国への輸入は、アルミニウムや化学品などが増えた一方、原